

『東大和市学校給食センター』完成

当社共同企業体が建築工事を請負った「東大和市学校給食センター」が 9 月 30 日に竣工しました。

本施設は、現在の第一、第二学校給食センターの老朽化に伴い、東大和市の南部に位置する桜が丘市民広場の東側一角に新設された給食センターです。調理配膳業務は民間委託され平成 29 年 4 月より稼働予定です。東大和市でも注目された工事であり、現場見学会も数回開催されました。

本施設の特徴として、狭い敷地を効率的に活かすために、給食センターとしては稀な総 2 階建てとし、主に調理作業を行う諸室は 2 階に配置され、2 階の一部の天井裏に機械室が設置されています。上下の移動は汚染区域と非汚染区域でそれぞれ専用のエレベーターで行う導線となっており、1 階の非汚染区域上部の 2 階の床下にはピットを設けてあり、2 階で万一漏水が発生した時に備えています。また、省エネ対策として LED 照明、人感センサーの採用、屋上に太陽光発電が設置されています。

安全・安心な給食を提供するために、最新の衛生管理基準に対応したドライ方式が採用され、食物アレルギーへの対応のために専用の調理室を設置されています。

食育の推進のために、1 階一般玄関や 2 階会議室兼食堂に見学用の窓が設けられ、施設見学ができます。

災害時の備えとして、非常用自家発電設備の設置と太陽光発電の自動運転切り替えによる電源供給確保や、敷地内にプロパン庫を設置し、プロパンガス釜が導入されています。また、周辺での消火活動にも利用できるよう、敷地内東側に防火用の水槽が設置されています。

非常に狭い敷地での工事であり、重機計画・資材搬入計画・コンクリート打設計画を綿密に行い、施工にあたりました。また、総 2 階建ての給食センターであり、施工図の作成・照査や工程調整などは、電気・設備・厨房等の他企業体の方と繰り返し協議を行い施工しました。

監督員の方には毎日巡視して頂き、また市長・副市長・教育長にも頻繁に施工状況を確認して頂き、施工者としても満足のいく建物を造ることができました。

本施設の完成により、今後学校給食センターを市街地などの狭隘敷地で計画する場合や、所有地を有効に利用して計画する場合などの参考例として活用されていくことと思われま



工事概要

所在地 東大和市桜が丘 2 丁目 142 番地 41
 構造規模 鉄骨造、地上 2 階
 敷地面積 3,148.26m²
 建築面積 2,049.90m²
 延床面積 3,913.58m²
 調理能力 1 日最大 8,000 食
 対象校 東大和市立小・中学校 全 15 校

事業主
 設計・監理
 建築
 厨房・給排水衛生設備
 空気調和設備
 電気設備

東京都東大和市
 株式会社相和技術研究所
 浅沼・大和建设共同企業体
 大成温調・吉川建設共同企業体
 (厨房設備：中西製作所)
 八重洲・尾崎建設共同企業体
 村山電気株式会社